

平成25年度
社会福祉法人志摩市社会福祉協議会 事業実施報告書
＜平成25年4月1日～平成26年3月31日＞

〔経過報告〕

日本経済はアベノミクスの第三の矢、即ち「民間投資を喚起する成長戦略」により、今春闘で一部ベア復活を果たし、賃金の上昇と購買意欲の増加による景気回復を目論んでいます。しかし、今なお地方における景気の波及効果はその進行速度が遅く、景況感は低いものと言わざるを得ません。

このような中、本会は地域福祉を推進する中核的な団体として様々な福祉ニーズに対応し、その存在価値を高めるため地域の皆様をはじめ他機関と共同し各事業を遂行してまいりました。

本会の経営においては厳しい状況が続く中、法人の健全な運営を目指して事業の効率化や組織・体制の見直しを検討する部署として企画運営管理室を設置しました。企画運営管理室では現在実施している事業を分析し、本会の未来を見据えた収益構造の改革などについて着手しています。

また、志摩市の地域福祉活動の道標となる「第2次志摩市地域福祉（活動）計画」は、本年度が実践段階の2年目に入りました。第2次計画の重点施策として位置づけている小地域での福祉活動を推進していく取組みとしては、三重大学と共同した地域診断調査を基に地域の特性を統計化（見える形）し、自治会を初めとした地域リーダーとの懇談会により地域が抱える課題や地域が必要としている仕組みなどについて話し合いを重ねました。また、第2次計画は本年度が計画見直しの年でした。計画の進行管理及び評価は、保健・医療・福祉関係者、学識経験者、市民の代表者などで構成する志摩市地域福祉推進審議会において行うこととしていることから、志摩市及び志摩市社会福祉協議会が実施する事業についてそれぞれが自己評価し、それを審議会に報告して出席委員に意見を求めました。結果、第2次計画においては積み残してきた事業における課題を分析しながら、現行計画を更に3か年継続して推進していくこととして合意を得ました。

介護保険サービス関係事業及び障がい福祉サービス関係事業の事業実績は、端的に言えば芳しい数字を残しているとは言い難い状況となりました。本会の屋台骨である介護保険サービス関係事業においては、介護保険収入が616,000千円余りとなり前年度対比33,000千円余りの減収（▲5.1%）となりました。居宅介護支援事業を除く殆どのサービスにおいて利用者が減少している状況です。また、障がい福祉サービス関係事業においては、自立支援費等収入が290,000千円余りとなり前年度対比900千円余りの減収（▲0.3%）となりました。就労支援事業を除く殆どのサービスにおいて利用者が減少している状況です。このような状況を把握したうえでその要因を分析し新たな事業展開を検討していくとともに、社会福祉協議会の専門性を発揮したより質の高いサービスが提供できるよう職員の資質向上等に努めていく必要があると考えています。

【志摩市の人口等の推移】

	平成21年4月	平成22年4月	平成23年4月	平成24年4月	平成25年4月
人 口	58,642人	57,871人	57,020人	56,224人	55,526人
世 帯 数	22,537世帯	22,676世帯	22,718世帯	22,787世帯	22,968世帯
65歳以上人口	17,641人	17,848人	17,731人	17,947人	18,370人
高齢化率	30.1%	30.8%	31.1%	31.9%	33.1%

I. 法人運営事業

1. 役員会等（理事会・監事監査会・評議員会等）

(1) 理事会

期 日	議 決 事 項	出席者	開催場所
[第1回] 5月29日	1. 評議員（補欠）の選任について 2. 定款の一部変更について 3. 定款施行細則の一部変更について 4. 理事・監事・評議員選任規程の一部変更について 5. 福祉サービスに関する苦情解決事業実施要綱の一部変更について 6. 平成24年度事業実施報告について 7. 平成24年度一般会計・特別会計収入支出決算について	理事15名 監事2名	サンライフあご多目的ホール
[第2回] 10月21日	1. 契約職員・パート職員就業規程の一部変更について 2. 社会福祉大会における被表彰者及び被感謝者の審査選考について（協議）	理事14名 監事1名	磯部健康福祉センターかがやき多目的ホール
[第3回] 11月21日	1. 債権の売却について 2. 国有財産の件について（協議）	理事10名 監事2名	磯部健康福祉センターかがやき多目的ホール
[第4回] 12月19日	1. 評議員（補欠）の選任について 2. 平成25年度一般会計・特別会計補正予算について	理事14名 監事2名	磯部健康福祉センターかがやき多目的ホール
[第5回] 3月26日	1. 平成25年度一般会計・特別会計補正予算について 2. 事務局規程の一部変更について 3. 処務規程の一部変更について 4. 職員給与規定の一部変更について 5. 経理規程の制定について 6. 福祉基金及び積立金管理規定の制定について 7. 平成26年度事業計画について 8. 平成26年度資金収支予算について	理事14名 監事2名	磯部健康福祉センターかがやき多目的ホール

(2) 監事監査会

期 日	内 容	出席者	開催場所
[第1回] 5月16日	平成24年度決算監査（下記書類を中心に監査） ①平成24年度事業実施報告書 ②平成24年度財産目録、貸借対照表、事業活動収支計算書、資金収支計算書	監事2名	本所 会議室
[第2回] 11月28日	平成25年度中間監査（下記書類を中心に監査） ①平成25年度事業実施報告 ②平成25年度貸借対照表、資金収支計算書	監事2名	本所 会議室

(3) 評議員会

期 日	議 決 事 項	出席者	開催場所
-----	---------	-----	------

[第1回] 5月29日	1. 役員（補欠）の選任について 2. 定款の一部変更について 3. 平成24年度事業実施報告について 4. 平成24年度一般会計・特別会計収入支出決算について	評議員29名 監事2名	サンライフあご多目的ホール
[第2回] 12月19日	1. 役員（補欠）の選任について 2. 平成25年度一般会計・特別会計補正予算について	評議員27名	磯部健康福祉センターかがやき多目的ホール
[第3回] 3月26日	1. 平成25年度一般会計・特別会計補正予算について 2. 平成26年度事業計画について 3. 平成26年度資金収支予算について	評議員27名	磯部健康福祉センターかがやき多目的ホール

2. 社協会費の状況

(1) 一般会費の状況

	浜島支所	大王支所	志摩支所	阿児支所	磯部支所
納入件数	1,373件	770件	2,622件	3,542件	2,299件
納入金額	686,200円	373,471円	1,392,521円	1,733,510円	1,149,500円
納入件数合計	10,606件〔前年比 -755件〕		納入金額合計 5,335,202円〔前年比円〕-326,356円		

(2) 賛助会費の状況

	本所	浜島支所	大王支所	志摩支所	阿児支所	磯部支所
納入件数	29件	23件	7件	40件	45件	44件
納入金額	87,000円	69,000円	21,000円	170,000円	152,850円	132,000円
納入件数合計	188件〔前年比 -8件〕		納入金額合計 631,850円〔前年比円〕-27,150円			

(3) 特別会費の状況

	本所	浜島支所	大王支所	志摩支所
納入件数	13件	20件	42件	19件
納入金額	110,000円	130,000円	225,000円	165,000円
	阿児支所	磯部支所	障がい施策室	合計
納入件数	102件	47件	0件	243件
納入金額	640,000円	480,000円	0円	1,750,000円

〔前年比： +2件 / -13,000円〕

(4) 会費の推移

[単位：円]

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
一般会費	6,411,522	6,248,911	6,132,694	5,661,558	5,335,202
賛助会費	539,000	543,000	545,000	659,000	631,850
特別会費	1,903,000	1,920,000	1,813,000	1,763,000	1,750,000
合計	8,853,522	8,711,911	8,490,694	8,083,558	7,717,052

3. 寄附金の状況

(1) 寄附金状況

	本 所	浜島支所	大王支所	志摩支所
寄 附 件 数	11 件	10 件	11 件	1 件
寄 附 金 額	691,167 円	681,088 円	488,688 円	200,000 円
	阿児支所	磯部支所	障がい施策室	合 計
寄 附 件 数	14 件	13 件	2 件	62 件
寄 附 金 額	486,628 円	1,414,888 円	18,000 円	3,980,459 円

[前年比： -17 件 / +362,301 円]

(2) 年度別寄附金額

[単位：円]

	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
寄 附 金	5,582,047	2,707,153	4,888,869	3,618,158	3,980,459

(3) 寄贈物品状況【固定資産物品】

[障がい施策室] フルリクライニング車椅子 1 台

4. 広報、啓発事業

(1) 志摩市社会福祉協議会ホームページの運営 [[http:// www. shima- fukushikyo. or. jp](http://www.shima-fukushikyo.or.jp)]
内容 / 事業紹介、各種情報提供、ブログ (支所活動・市民活動)、その他

(2) 広報誌「志摩市社協だより」 計6回発行 (奇数月の1日発行)
A4版2色刷り (12ページ) / 約17,750部発行 (1回あたり)

5. 志摩市社会福祉大会

(1) 平成25年度志摩市社会福祉大会の開催

多年にわたり地域福祉の向上に率先して、ご尽力、ご協力いただいた方々のご功績に心から敬意と感謝の意を表わすとともに、これを契機として本会と地域住民が互いに協力し模索し合いながら、更に地域福祉を充実していこうとする気運を醸成することを目的として開催しました。

期 日 : 平成25年11月9日 (土)

会 場 : 志摩市阿児アリーナ

顕彰者数 : (表彰) 7組、(感謝) 20組

延べ参加者数 : 約200名

6. 事業評価と今後の課題【法人運営事業】

依然として厳しい財政状況のなか、安定した健全な事業運営を目指した経営改善に向け具体的な取り組みを推進しています。

本会を支える財源は、市民からの尊い会費や寄附金が基盤となっており、一般会費は自治会様等の多大な協力をいただいております。また賛助会費や特別会費につきましては、諸団体や企業等を訪問して本会への理解と会員加入・会費納入の推進を図り確保に努めております。寄附金につきましては、多数の団体や企業、個人の方から多額の金品や物品が寄せられました。会費や寄附金は、市民の皆様の善意に応えるよう本会が行なう様々な福祉事業を行なうための財源として活用させ

ていただいております。

職員については、各方面の会議等に参加させて関係機関及び団体との連携を図るとともに、外部研修会や講習会等へ積極的に参加させ知識や技術の向上に努めています。

社会福祉法人新会計基準について、平成26年度の移行を目指し準備を進めています。

広報活動につきましては、市民のみなさんに幅広く情報提供をして啓発していくために「社協だより」を隔月に発行しています。福祉情報や各支所で実施している事業、市内で活動しているボランティア団体の紹介など情報発信に努めています。また、ホームページによる福祉活動情報「市民活動ひろば」は、定期的に活用される内容を目指しています。

志摩市が実施している指定管理者制度において地域福祉センター4施設・介護予防拠点施設1施設の指定管理業務を受託し、市民の福祉の増進及び福祉意識の高揚を図るため各種事業を推進しながら市民に対し福祉サービスの提供を行っております。

II. 地域福祉活動推進事業

1. ボランティアセンター事業

(1) ボランティア活動支援事業

ボランティア・市民活動の相談窓口となり、ボランティア・市民活動に関する相談援助、コーディネート業務（調整）、情報提供、登録事務、活動費の助成などの業務を全般的に行ないました。

	浜島地区	大王地区	志摩地区	阿児地区	磯部地区	市外	合計
相談・助言	145件	45件	58件	119件	116件	62件	545件
登録団体数	6団体	7団体	14団体	18団体	18団体	0団体	63団体
登録団体会員数	67名	293名	271名	310名	262名	0名	1,203名
個人登録者数	5名	11名	21名	16名	22名	0名	75名
活動費の助成 (1団体/上限10,000円)	60,000円	60,000円	130,000円	140,000円	180,000円	0円	570,000円

(2) 音声情報提供事業

朗読ボランティアグループ（やまびこ：浜島、夕風：大王、浜風：阿児、さくらんぼ：磯部）により志摩市内に在住の視覚障がい者を有する方に、志摩市が発行する「広報しま」、「議会だより」及び志摩市社会福祉協議会が発行する「社協だより」などを音訳し配布を行ないました。

	浜島地区	大王地区	志摩地区	阿児地区	磯部地区	合計
実利用者数	1名	1名	2名	10名	10名	24名

(3) 地域福祉を推進する団体への事業費の助成〔一般募金配分金を使用〕

地域において生活支援を求めている人が住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、住民による先駆的な福祉活動やまちづくり活動の推進を図るために、創意工夫をこらして主体的にすすめる事業に対し、共同募金を財源として事業費を助成しました。

《助成団体》

助成総額 1,600,000円 / 助成団体数 20団体			
団体名	助成額	団体名	助成額
アリス	84,000円	特定非営利活動法人 Peace Workers	72,000円
磯部楽打天晴倶楽部	84,000円	特定非営利活動法人ふれあい工房	82,000円
しま子育て応援団	87,000円	みえ防災コーディネーター志摩の会	38,000円
志摩市磯部町朗読奉仕会さくらんぼ	81,000円	社会福祉法人むげんのかのうせい えがお志摩保育園	84,000円
志摩人形クラブ	63,000円	特定非営利活動法人夢ひこーき	87,000円
志摩夢まちサポーターズ	84,000円	浜島地区自治会連合会	100,000円
手話サークルあいの会	80,000円	大王船越自治会	100,000円
大王地区夢まちづくり委員会	73,000円	志摩町自治会連合会	100,000円
大王町音訳ボランティア夕風	82,000円	阿児町自治会連合会	100,000円
のぞみ会	19,000円	磯部町地区自治会連合会	100,000円

(4) 地区夢まちづくり委員会

- ・地区夢まちづくり委員会

	大王地区	志摩地区	合計
開催回数	11回	18回	29回
委員数	12名	58名	70名

- ・地区夢まちづくり委員会の活動

地区	期日	内容及び参加者数
大王	4月4日	花見会（ともやま公園） 参加者数：120名
	7月16日	ゴミ分別の説明会（ゆうゆう苑） 参加者数：34名
	9月7日	大王町きれいにしょ～な大作戦（波切漁港） 参加者数：25名
	12月5日	みんなのお楽しみ会（船越公民館） 参加者数：117名
	2月15日	大王町きれいにしょ～な大作戦（波切漁港） 参加者数：20名
志摩	5月12日	平成25年度第1回志摩町海岸クリーン大作戦 参加者数：130名
	7月7日	平成25年度第2回志摩町海岸クリーン大作戦 参加者数：140名
	10月27日	平成25年度第3回志摩町海岸クリーン大作戦 参加者数：105名
	毎月第4土曜日開催	子育て応援サロン 参加者数：203名 4/27、5/25、6/22、8/24、9/28、11/9、12/21、2/1、26、3/22
	臨時開催	夏休み子育て応援サロン（7/22、23、8/3、6、10、26） 参加者数：77名

(5) 各支所ボランティアセンター事業

【浜島支所】

- ・浜島支所内のボランティア情報掲示板において、各種案内、助成金情報を提供

【大王支所】

- ・大王支所内のボランティア情報掲示板において、各種案内、助成金情報を提供

【志摩支所】

- ・志摩支所内のボランティア情報掲示板において、各種案内、助成金情報を提供

【阿児支所】

- ・阿児支所内のボランティア情報掲示板において、各種案内、助成金情報を提供

【磯部支所】

- ・磯部支所内のボランティア情報掲示板において、各種案内、助成金情報を提供

2. 福祉教育支援事業

(1) 福祉協力校助成〔一般募金配分金を使用〕

学童・生徒の頃から幼少者・高齢者・障がい者等との交流体験などの福祉体験活動を中心に、ボランティア活動をすすめることで、子どもたちがさまざまな人々を自然に受け入れ、交流できる態度や福祉への関心を育むことを目的に市内の学校を福祉協力校として指定し、福祉学習を推進する事業費を助成しました。

	浜島地区	大王地区	志摩地区	阿児地区	磯部地区	合 計
30,000 円	2 校	2 校	5 校	6 校	3 校	18 校
55,000 円	0 校	0 校	0 校	1 校	0 校	1 校
60,000 円	0 校	2 校	0 校	3 校	2 校	7 校
合 計	60,000 円	180,000 円	150,000 円	415,000 円	210,000 円	1,015,000 円

(2) 福祉学習

福祉に関心を持ち、行動する人を地域に増やすことによって地域がかわることを目指し、市内の学校と連携して福祉学習を実施しました。

地区	期 日	内 容	会 場	参 加 者
大王	9 月 26 日	視覚障がい者との交流会	船越小学校	4 年生：14 名
志摩	9 月 9 日	はまゆうサロン「和具幼稚園児との交流会」	おりきの松公園 多目的集会施設	園児 17 名 先生 4 名
	10 月 17 日	視覚障がい者との交流	和具中学校 体育館	和具小 4 年生 29 名、5 年生 35 名、6 年生 48 名、教諭 6 名
	10 月 22 日	会食交流会「志摩幼稚園 5 歳児と交流」	志摩文化会館	5 歳児 35 名、教諭 6 名
	11 月 12 日	ガイドヘルプ体験	片田中学校	1 年生 10 名、教諭 3 名
	11 月 12 日	車椅子の介助体験、ガイドヘルプ体験	和具中学校	2 年生 78 名、教諭 5 名
阿児	6 月 28 日	車椅子体験	鵜方小学校	4 年生 3 クラス 児童 90 名 教諭 1 名
	10 月 2 日	ガイドヘルプ学習	鵜方小学校	4 年生 3 クラス 児童 90 名
	10 月 17 日	視覚障がい者との出会い学習	鵜方小学校	4 年生 3 クラス 児童 90 名
	10 月 24 日	視覚障がい者との出会い学習	甲賀小学校	4 年生 1 クラス 児童 29 名
	10 月 24 日	視覚障がい者との出会い学習	安乗小学校	4 年生 1 クラス 児童 15 名

	11月14日	高齢者疑似体験	神明小学校	6年生2クラス 児童41名
	11月21日	点字教室	神明小学校	3年生2クラス 児童37名
	11月21日	点字教室	神明小学校	4年生2クラス 児童41名
	11月21日	視覚障がい者との出会い学習 ガイドヘルプ学習	立神小学校	4年生1クラス 児童16名
	11月25日	高齢者疑似体験	神明小学校	5年生2クラス 児童56名
	12月5日	手話教室	神明小学校	1年生1クラス 児童35名
	12月5日	手話教室	神明小学校	2年生2クラス 児童44名
	12月9日	ガイドヘルプ学習と車いす学習	志島小学校	3年生・4年生 児童10名
	2月3日	デイサービスセンター見学	鶯方小学校	4年生1クラス 児童30名
	2月4日	デイサービスセンター見学	鶯方小学校	4年生1クラス 児童30名
	2月7日	デイサービスセンター見学	鶯方小学校	4年生1クラス 児童30名
	2月27日	車いす学習	甲賀小学校	3年生1クラス 児童30名
	2月27日	高齢者疑似体験	甲賀小学校	5年生1クラス 児童23名
磯部	7月25日	おじいさん・おばあさんに手作りカードを作ろう	かがやき	磯部小学校8名
	8月6日	デイサービスふれあい体験	かがやき	磯部小学校7名
	8月8日	デイサービスふれあい体験	かがやき	磯部中学校8名
	8月23日	防災について考えよう	かがやき	磯部中学校7名
	9月3日	防災について考えよう	成基小学校	成基小学校30名
	9月17日	車いす体験学習	磯部小学校	磯部小学校34名
	1月29日	高齢者疑似体験教室	磯部小学校	保健委員会10名

(3) 介護・福祉人材の育成

次の世代を担う介護・福祉の人材を育成するため高等学校、大学、事業所などの機関より実習希望者を受け入れました。

[実人数]

	本所	浜島支所	大王支所	志摩支所	阿児支所	磯部支所	障がい施策室	合計
社会福祉士 相談援助実習	5名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	5名
介護等体験 実習	0名	1名	0名	0名	5名	1名	3名	10名
福祉・介護の 職場体験実習	0名	1名	0名	0名	3名	1名	2名	7名

その他	0名	0名	0名	0名	2名	1名	0名	3名
合計	5名	2名	0名	0名	10名	3名	5名	25名
◆社会福祉士相談援助実習 / 社会福祉士受験資格取得に係る実習(23日間かつ180時間以上) ◆介護等体験実習 / 小、中学校教員免許資格取得に係る実習(40時間) ◆福祉・介護の職場体験実習 / 福祉・介護職場に関心がある方の実習								

3. 小地域ネットワーク活動・地域見守り事業

(1) ふくし懇談会

地域における福祉課題、困りごとを把握することや、地域の福祉課題を解決する仕組みづくりを検討するため、自治会関係者、民生委員児童委員、福祉委員、ボランティアなど地域リーダーを交えてふくし懇談会を開催しました。

期 日	内 容	会 場	参加者
4月8日	地域診断調査報告	畔名コミュニティセンター	4名
4月15日	地域診断調査報告	塩屋学習センター	10名
5月16日	立神地区での立ち上げに向けた打合せ会議(第1回)	立神ふれあいセンター	8名
6月11日	立神地区での立ち上げに向けた打合せ会議(第2回)	立神ふれあいセンター	8名
6月24日	要援護者台帳整備 地域診断調査報告	越賀多目的集会施設	9名
6月25日	〃	御座コミュニティセンター	9名
8月1日	〃	志摩文化会館	17名
9月20日	〃	片田共同福祉施設	7名
3月10日	塩屋地区ふくし懇談会	塩屋学習センター	11名
3月25日	名田地区ふくし懇談会	名田公民館	8名

(2) 民生委員児童委員協議会

常に住民の立場に立った相談に応じ、必要な援助を行ない、社会福祉の増進に努める民生委員児童委員協議会の活動を支援しました。

協議会名	委員数	定例会	役員会	専門部会
浜島地区民生委員児童委員協議会	17名	6回	5回	0回
大王地区民生委員児童委員協議会	19名	6回	0回	5回
志摩地区民生委員児童委員協議会	31名	6回	6回	6回
阿児地区民生委員児童委員協議会	48名	6回	6回	2回
磯部地区民生委員児童委員協議会	21名	6回	6回	4回

(3) 福祉委員会

地域において福祉に関する課題や要望を把握し、助け合い活動を展開して地域の人たちがともに「福祉でまちづくり」をすすめていく「推進役」である福祉委員会の活動を支援しました。

地区	委員会名	委員数	主な活動内容	助成額
浜島	桧山路地区福祉委員会	10名	サロンの実施、見守り活動など	65,000円
	塩屋地区福祉委員会	13名	サロンの実施、会食会など	65,000円
	迫子地区福祉委員会	14名	サロンの実施、見守り活動など	65,000円

阿児	鵜方地区福祉委員会	15名	見守り活動、地域ボランティアへの参加協力など	65,000円
	神明地区福祉委員会	32名	見守り活動、高齢者ふれあい交流会など	65,000円
	立神地区福祉委員会	16名	見守り活動、アルミ缶・古新聞の回収、サロンへの協力など	65,000円
	志島地区福祉委員会	13名	見守り活動、福祉の森清掃活動など	65,000円
	甲賀地区福祉委員会	9名	見守り活動、サロンの実施など	65,000円
	安乗地区福祉委員会	13名	見守り活動、地区行事への参加協力など	65,000円

(4) 見守り支援員

地区	内 容
磯部	磯部町内の20地区の各自治会に162名の見守り支援員をお願いして、見守りが必要な方に日頃の自治会活動を通じて安否確認などの支援活動を行ないました。

(5) 地域見守り事業〔歳末たすけあい募金配分金を使用〕

見守りが必要な方に対しての訪問やふれあい弁当の配食などを行ない、地域での助け合い活動や交流・見守り活動を実施しました。

◇ 定期訪問等（ふれあい弁当の配食・安否確認）						
	浜島支所	大王支所	志摩支所	阿児支所	磯部支所	合 計
延べ実施回数	20回	24回	18回	20回	20回	102回
延べ利用者数	1,444名	434名	1,588名	749名	1,376名	5,591名
◇ 会食サービス（相互交流・親睦）						
	浜島支所	大王支所	志摩支所	阿児支所	磯部支所	合 計
延べ実施回数	2回	0回	1回	0回	2回	5回
延べ参加者数	83名	0名	75名	0名	69名	227名

地区	実施月	内 容	延べ利用者数
大王	7・8月	ふれあい弁当の配食を実施しない月に、日用品を配布し、安否確認を行ないました。小・中学生も同行し、見守り訪問の体験を行ないました。 実施回数／4回	67名
志摩	7～9月	ふれあい弁当の配食を実施しない月に、日用品を配布し、安否確認を行ないました。 実施回数／6回	562名
阿児	7・8月	ふれあい弁当の配食を実施しない月に、福祉委員会や小中学生が、日用品や花、飲み物等を配布し安否確認を行ないました。 実施回数／各地区2～4回	100名
磯部	7・8月	ふれあい弁当の配食を実施しない月に、日用品や磯部小学校の児童の手作りカードをボランティアが配布し、安否確認を行ないました。 実施回数／2回	144名
	4～9月	郵便局と連携して、郵便物を配達する際に安否確認を行ないました。絵手紙ボランティアや小学生などにも絵手紙の作成に協力してもらいました。	243名

(6) 地域ふれあいサロン〔一般募金配分金を使用〕

小地域を基盤とした住民参加による地域ボランティア活動を推進し、ひとり暮らしのお年寄りや家で閉じこもりがちの方が、住みなれた地域で生きがいを持ちながら社会参加が図れるよ

う、地域の生活課題を共に考え、共に支え合う「地域ふれあいサロン」の活動を支援し、共同募金を財源としてサロンの運営に必要な活動経費の一部を助成しました。

	浜島地区	大王地区	志摩地区	阿児地区	磯部地区	合 計
実施箇所数	5箇所	2箇所	10箇所	8箇所	14箇所	39箇所
延べ実施回数	79回	34回	100回	80回	122回	415回
延べ利用者数	1,733名	439名	858名	2,302名	2,906名	8,238名
助成件数	5件	2件	10件	9件	14件	40件
助成額	150,000円	60,000円	243,000円	270,000円	395,000円	1,118,000円

(7) 要援護者台帳の整備

平常時より要援護者の把握に努め、災害時の避難支援や平常時における見守り活動の支援、小地域での支えあいネットワークの体制整備などに役立てていくことを目的とした要援護者台帳を整備するため、志摩市ふくし総合支援室と地域福祉課と連携して、自治会や民生委員児童委員などの関係者を対象に説明会や打ち合せなどを行ないました。

地区	期 日	会 場	参 加 者
立神	5月16日	立神ふれあいセンター	自治会役員、地域福祉課、社協職員
立神	6月11日	立神ふれあいセンター	自治会役員、地域福祉課、社協職員
越賀	6月24日	越賀多目的集会施設	自治会役員、民生委員
御座	6月25日	御座コミュニティセンター	〃
和具	8月1日	志摩文化会館	〃
越賀	8月23日	社協志摩支所	自治会庶務係
御座	8月27日	山吉事務所	自治会会長、書記
越賀	9月12日	社協志摩支所	自治会庶務係
片田	9月20日	片田共同福祉施設	自治会役員、民生委員
浜島	1月10日	浜島誠心館	自治会会長、地域福祉課、社協職員
浜島	1月27日	浜島誠心館	自治会会長、役員数名、社協職員
浜島	2月10日	浜島誠心館	自治会会長、社協職員

(8) 防災意識の向上

志摩市や関係機関と連携して防災意識の向上等を目的とした事業に取り組みました。

①地震から子どもをまもりたい！！

自然災害発生時に地域住民が協力して災害救助・救護活動、被災者生活支援活動を効果的に行うため、子どもや保護者を対象に防災対策の基本的な知識と技術を身に付けることを目的とした学習会を開催しました。

期 日	内 容 等
8月10日 11日	内 容：避難所一泊体験 会 場：三ヶ所防災倉庫 参加者：30名
2月2日	内 容：防災まちあるき 会 場：浜島生涯学習センター 参加者：56名

(9) 志摩市地域福祉フェスタ

助けあい、つながりあい、安心して暮らせる志摩市の実現を目指して平成23年度に策定し

た第2次志摩市地域福祉（活動）計画に掲げた地域福祉活動を推進するための啓発イベントを開催しました。

期 日：平成25年11月23日（土）

会 場：志摩市立波切小学校

テーマ：助けあい、つながりあい、安心して暮らせる志摩市の実現

参加者：約2,000名

（10）在宅介護支援事業

主に高齢者の福祉相談窓口として、サービスに対する相談、利用の代行申請、情報提供、ニーズ調査（分析）、サービス調整などの業務を全般的に行ないました。

		浜島地区	大王地区	志摩地区	阿児地区	磯部地区	市 外	合 計
相談・助言		54件	172件	190件	107件	181件	29件	733件
内 訳	介護	6件	5件	3件	4件	2件	0件	20件
	生活・家族	44件	141件	87件	47件	91件	5件	415件
	福祉サービス	4件	7件	64件	35件	59件	5件	174件
	医療	0件	0件	3件	4件	2件	2件	11件
	経済的問題	0件	16件	23件	11件	22件	14件	86件
	権利擁護	0件	3件	10件	6件	5件	3件	27件
実態把握調査		15件	18件	10件	18件	19件		80件
介護者の会支援		8回	5回	3回	12回	9回		37回
介護予防教室等		0回	0回	0回	5回	9回		14回
福祉機器貸与		6件	17件	7件	22件	9件		61件

（11）家族介護教室 [志摩市より受託]

介護者等が介護に関する知識や技術を習得し、介護者相互が交流する機会を持つことで在宅介護を支援するとともに、身体的・精神的な負担の軽減を図ることを目的に開催しました。

	浜島地区	大王地区	志摩地区	阿児地区	磯部地区	合 計
延べ実施回数	5回	5回	5回	5回	5回	25回
延べ参加者数	90名	54名	71名	78名	63名	356名

主な内容・・・福祉用具について（8月）、施設見学（9月）、基本的な介護技術（10月）、介護食の実習（12月）、終末期ケアの講演会（2月）

（12）地域サロン推進事業 [志摩市より受託]

介護予防事業一次予防事業対象者に対し、「地域介護予防活動支援事業」を実施することにより、介護予防を推進するとともに、地域における包括的・継続的なマネジメント機能の強化を図ることを目的に、地域サロン実施地区への住民主体による立ち上げを支援しました。

	磯部地区
支援地区	迫間第一地区、三ヶ所地区、渡鹿野地区

（13）介護予防拠点施設（菜の花館）の運営 [志摩市より受託]

①生きがい活動支援通所事業

閉じこもりがちな特定高齢者等を対象に通所による生活指導や趣味活動の機会を提供しました。

②一般高齢者通所事業

一般高齢者が要介護状態とならないよう予防のための入浴、レクリエーションの機会を提供しました。

	生きがい活動支援通所（月・水・金）	一般高齢者通所（火・木）
延べ利用者数	842名〔前年比 +153名〕	418名〔前年比 -312名〕

4. 福祉サービス利用援助事業

(1) 社協障がい者生活支援センターあおぞら（指定相談支援事業）

障がいのある方やご家族からの福祉サービス等の利用相談に応じ、市やサービス提供事業者、委託相談支援事業所との連絡調整（市町への支給決定等の申請に係るサービス等利用計画の作成・サービス担当者会議の実施）を行いました。

また、継続して障がい福祉サービス等を適切に利用することができるよう、利用計画の見直し（モニタリング）を行いました。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
新規	4件	1件	6件	1件	4件	2件	
更新・変更	5件	2件	3件	2件	2件	3件	
モニタリング	5件	9件	10件	4件	5件	12件	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規	1件	0件	0件	0件	1件	0件	20件
更新・変更	7件	7件	10件	5件	4件	8件	58件
モニタリング	4件	11件	5件	6件	5件	0件	76件

(2) 地域福祉権利擁護事業（日常生活自立支援事業）〔三重県社会福祉協議会より受託〕

福祉サービスが契約となる時代を迎え、判断能力が不十分なために不利益を被ることのないよう法律行為（利用援助）や付随する金銭・書類預かり等のサービスを実施しました。

志摩市及び南伊勢町を担当する基幹的社会福祉協議会として、専門員を設置し、事業を推進しました。

〈1〉活動報告

	名称 / 志摩地域権利擁護センター						合計
	浜島地区	大王地区	志摩地区	阿児地区	磯部地区	南伊勢町	
相談・助言	2件	9件	7件	14件	5件	0件	37件
利用契約数	1件	7件	7件	8件	2件	3件	28件
解約数	2件	6件	4件	8件	3件	2件	25件
総利用者数	11名	19名	10名	32名	14名	10名	96名
生活支援員数	7名	7名	8名	18名	2名	7名	49名
生活支援訪問回数	543回	277回	174回	462回	363回	268回	2,087回
専門員対応生活支援訪問回数	14回	14回	12回	125回	196回	17回	378回
その他	101回	441回	202回	1,047回	453回	157回	2,401回
◆相談・助言 / 問い合わせ件数・初回相談件数							
◆その他 / 生活支援以外で対応した専門員の訪問回数及び電話相談件数							

〈2〉生活支援員研修会の開催

①生活支援員養成研修会

地域福祉権利擁護事業の啓発と生活支援員の人材確保を目的とした研修会を開催しました。

期 日	内 容 等
10月23日	研修内容：社会福祉協議会について、地域福祉権利擁護事業について 成年後見制度について、医学の基礎知識について 会 場：志摩市健康福祉センターかがやき 多目的ホール 参 加 者：19名
10月30日	研修内容：認知症高齢者への支援について、知的障がい者への支援について、 精神障がい者への支援について、生活支援員について 会 場：志摩市健康福祉センターかがやき 多目的ホール 参 加 者：19名

②生活支援員研修会

生活支援員のスキル向上を目的として研修会を開催しました。

期 日	内 容 等
1月30日	研修内容：ワールドカフェによるグループワーク 会 場：志摩市健康福祉センターかがやき 多目的ホール 参 加 者：22名

(3) 成年後見制度（法人後見）

認知症、知的障がい、精神障がい等の精神上的の障がいにより判断能力が不十分なために不利益を被ることのないよう、本会が成年後見人等（成年後見人、保佐人、補助人）となり、本人の利益を考えながら、身上監護（住居、介護、施設入所、医療等）や財産管理（預金、不動産等）等の法律行為を本人に代わり契約を締結するなどして支援しました。

	後 見	保 佐	補 助	任意後見
年度当初既受任者数	5名	3名	0名	0名
年度内新規受任者数	5名	1名	0名	0名
年度内後見終了者数	0名	0名	0名	0名
年度末利用者数合計	10名	4名	0名	0名

(4) 地域生活定着支援

三重県地域生活定着支援センターとの連携により、高齢や障がいのために、支援を必要とする受刑者の退所後について、住居の確保や福祉サービスの利用援助など地域生活が可能となるよう支援しました。

	高 齢 者	障 がい 者	そ の 他
年度当初既支援者数	1名	0名	0名
年度内新規支援者数	0名	0名	0名
年度内支援修了者数	1名	0名	0名
年度末利用者数合計	0名	0名	0名

5. 志摩市地域福祉課への協力

(1) 志摩市地域福祉課への職員派遣

生活保護制度の見直しによる既存の制度では解決が難しい生活困窮者の複合的な課題に適切に対応していくための新たな総合相談支援体制を整備していくため、志摩市地域福祉課に職

員 1 名（社会福祉士）を派遣しました。

6. 総合相談事業の実施

(1) 総合相談事業

住民の多種多様な相談にお応えするため、弁護士、司法書士による専門相談会を実施しました。

相談区分	法律相談 (弁護士)	登記・訴訟相談 (司法書士)
開催回数	28回	12回
相談件数	89件	39件

7. 生活福祉資金貸付事業への協力

(1) 生活福祉資金貸付事業 [三重県社会福祉協議会より受託]

生活福祉資金は、所得の低い世帯、障がい者の属する世帯及び高齢者の属する世帯を対象として安定した生活をするために必要な資金を貸し付ける制度であり、相談援助を行ないました。

〈相談件数〉

	浜島支所	大王支所	志摩支所	阿児支所	磯部支所	合計
相談・助言	1件	1件	9件	17件	14件	42件

〈貸付件数〉

	浜島支所	大王支所	志摩支所	阿児支所	磯部支所	合計
年度当初既貸付件数	9件	14件	20件	61件	16件	120件
年度内新規貸付件数	0件	1件	0件	12件	2件	15件
年度内償還完了等件数	0件	3件	1件	6件	1件	11件
年度末貸付件数	9件	12件	19件	67件	17件	124件

8. 放課後児童クラブ事業 [志摩市より受託]

(1) 放課後児童クラブ事業

志摩市が開設している「浜島放課後児童クラブ」「磯部放課後児童クラブ」を受託運営し、児童の健全育成に協力いたしました。

〈月別延べ利用者数〉

	浜島放課後児童クラブ	磯部放課後児童クラブ	合計
平成 25 年 4 月	171 名	706 名	877 名
5 月	172 名	638 名	810 名
6 月	151 名	584 名	735 名
7 月	219 名	752 名	971 名
8 月	278 名	669 名	947 名
9 月	186 名	632 名	818 名
10 月	213 名	760 名	973 名
11 月	192 名	612 名	804 名
12 月	182 名	576 名	758 名

平成 26 年 1 月	161 名	520 名	681 名
2 月	157 名	451 名	608 名
3 月	197 名	541 名	738 名
合 計	2,279 名	7,441 名	9,720 名
〔前年比〕	+376 名	+211 名	+587 名

【年度別延べ利用者数推移】

〔単位：名〕

	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
浜島児童クラブ	3,484	1,791	1,669	1,903	2,279
磯部児童クラブ	5,163	5,115	6,201	7,230	7,441
合 計	8,647	6,906	7,870	9,133	9,720

9. ふくし移送サービス事業〔福祉有償運送事業〕

(1) 公的介護サービスにともなう移送サービス事業（独自事業）

一般の公共交通機関を利用して移動することが困難な高齢者や障がい者に対して、福祉車両を用いて通院など（介護保険、障がい自立支援法に基づく通院介助）を支援しました。

(2) 外出支援サービス事業〔志摩市より受託〕

一般の公共交通機関を利用して移動することが困難な高齢者等に対して、福祉車両を用いて定期的な通院など（市の要綱に基づく外出）を支援しました。

(3) ふくし移送サービス事業（独自事業）

公共交通機関、介護保険、その他公的福祉サービスを利用できない介護・介助が必要な方に対して、福祉車両を用いて買い物や通院などの外出を支援しました。

【ふくし移送サービス事業の利用状況】

	(1)介護一体型	(2)外出支援	(3)その他一般型	合 計
延べ利用回数	1,122 回	273 回	974 回	2,369 回
〔前年比〕	-50 回	-7 回	-1,062 回	-1,119 回

【年度別延べ利用回数推移】

	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
介護一体型	613 回	807 回	872 回	1,172 回	1,122 回
外出支援	453 回	354 回	350 回	280 回	273 回
その他一般型	4,132 回	3,287 回	2,900 回	2,036 回	974 回
合 計	5,198 回	4,448 回	4,122 回	3,488 回	2,369 回

10. 共同募金運動への協力

(1) 運営委員会 計 7 回

期 日	議 決 事 項	出席者	開催場所
-----	---------	-----	------

[第1回] 5月23日	1.平成24年度事業実施報告(案)について 2.平成24年度一般会計決算(案)承認について 3.平成24年度(25年度充当)共同募金配分計画変更(案)について 4.平成25年度(26年度充当)共同募金配分計画(案)について 5.運営委員(補欠)の選任について	運営委員13名 監事2名	阿児アリーナ ミーティング ルーム
[第2回] 7月1日	1.運営委員(補欠)の選任について	回答者13名	(書面運営委員 会)
[第3回] 7月16日	1.運営委員(補欠)の選任について	回答者13名	(書面運営委員 会)
[第4回] 8月28日	1.平成25年度赤い羽根共同募金運動の実施につ いて	運営委員13名 監事2名	阿児アリーナ ミーティング ルーム
[第5回] 12月6日	1.運営委員(補欠)の選任について	回答者13名	(書面運営委員 会)
[第6回] 1月22日	1.志摩市共同募金委員会運営委員及び監事の選任 について	回答者13名	(書面運営委員 会)
[第7回] 2月28日	1.会長及び副会長の選任について 2.平成25年度一般会計補正予算(案)について 3.平成26年度事業計画(案)について 4.平成26年度一般会計予算(案)について	運営委員12名 監事2名	大王公民館 視聴覚室

(2) 監事会

期日	内 容	出席者	開催場所
[第1回] 5月9日	平成24年度決算監査(下記書類を中心に監査) ①平成24年度事業実施報告書 ②平成24年度財産目録、貸借対照表、事業活動収 支計算書、資金収支計算書	監事2名	本所 会議室

(3) 一般募金

期間：10月1日～12月31日

[単位：円]

募金種別	本所	浜島支所	大王支所	志摩支所	阿児支所	磯部支所	合計
戸別募金	0	707,100	824,745	1,331,650	1,665,813	1,063,510	5,592,818
法人募金	0	0	0	0	2,500	0	2,500
街頭募金	0	4,160	7,295	12,075	57,794	6,313	87,637
職域募金	12,313	5,853	4,735	7,925	11,551	5,861	48,238
個人募金	0	0	320	0	16,137	0	16,457
イベント募金	0	0	0	3,580	0	0	3,580
その他	26	0	0	16,259	15,294	0	31,579
合計	12,339	717,113	837,095	1,371,489	1,769,089	1,075,684	5,782,809

[前年比：-506,686円]

【一般募金の推移】

[単位：円]

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
一般募金	6,454,148	6,325,839	6,377,111	6,289,495	5,782,809

(4) 歳末たすけあい募金 期間：12月1日～12月31日

[単位：円]

募金種別	本所	浜島支所	大王支所	志摩支所	阿児支所	磯部支所	合計
戸別募金	0	711,360	308,545	1,281,565	1,648,528	1,031,057	4,981,055
法人募金	0	107,000	66,500	138,500	88,000	242,000	642,000
街頭募金	0	0	0	0	59,676	0	59,676
職域募金	9,686	7,000	0	0	19,000	6,110	41,796
イベント募金	0	0	0	0	6,200	0	6,200
個人募金	0	0	0	0	0	0	0
その他	58	14	3,249	43	13,424	24,418	41,206
合計	9,744	825,374	378,294	1,420,108	1,834,828	1,303,585	5,771,933

[前年比：+300,316円]

【歳末たすけあい募金の推移】

[単位：円]

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
歳末募金	6,243,008	5,348,811	6,114,208	5,471,617	5,771,933

1.1. 福祉団体事務への協力

(1) 志摩市老人クラブ連合会・志摩市身体障害者福祉連合会等

志摩市老人クラブ連合会及び志摩市身体障害者福祉連合会等の各種福祉団体の自主運営を支援しました。

期日	事業名	会場
10月3日	志摩市身体障がい者福祉体育大会	阿児アリーナ
11月13日	志摩市老人クラブ連合会スポーツ大会	磯部ふれあい公園
12月12日	志摩市身体障がい者忘年芸能大会	阿児アリーナ
2月13日	志摩市老人クラブ連合会役員研修会	阿児アリーナ

1.2. 事業評価と今後の課題 [地域福祉活動推進事業]

ボランティアセンター事業の取り組みとしては、各支所を拠点としたボランティアセンターにおいて市民の皆様から寄せられるボランティア活動に関する相談に丁寧にお応えするとともに、ボランティアセンターへの登録を広く呼びかけました。また、団体活動を推進していく活動費を赤い羽根共同募金を財源として助成することにより財政面から団体活動を応援するとともに、民間の財団等が募集する助成金情報や三重県ボランティアセンター等が主催する研修会等の情報等ボランティア活動に必要な情報の提供に努めました。市民が取り組むボランティア活動は多種多様となっており、地域福祉活動の要としてのボランティア、市民活動団体を継続的に支援していくためには柔軟に対応できる相談支援のスキルが求められているように思われます。

福祉教育支援事業では、市内の小学校、中学校、高等学校を福祉協力校として指定し、福祉学習を推進する事業費を助成しました。また、教育現場の福祉学習に関するニーズを受け止め、教育現場と連携を図りながら福祉学習のプログラムを協働して作成し、延べ27のプログラムを実施しました。少子化が進む中、市内の小中学校の統廃合が行われておりますが、地域の福祉力を高めるためには次世代を担う人材の育成を丁寧に展開していくことが必要であると考えます。

小地域ネットワーク活動の取り組みとしては、第2次志摩市地域福祉（活動）計画の重点施策としている身近な地域での福祉活動を推進するため、昨年度末に実施しました地域診断調査の簡易報告書により、自治会関係者などの地域のリーダーを対象として、近所づきあいや地域の満足度などの社会関係の傾向について報告しました。このような取り組みをすすめるなか、大王町船越地区においては、住民による支えあい活動に取り組む仕組み（福祉委員会）が立ち上がりました。今後も引き続き地域診断調査の分析結果を踏まえて地域に出向き、自治会関係者や民生委員児童委員協議会の皆様などとともに小地域における福祉活動の仕組みづくりに向けて協議を重ねていきたいと考えています。

福祉サービス利用援助事業では、障がいのある方や判断能力が不十分な方等に福祉サービス等の利用相談に応じ、利用者に寄り添う相談支援に努めました。社協障がい者生活支援センター及び志摩地域権利擁護センターにおいては、制度設計における経営面において課題があると分析しており、社会福祉協議会の意義を確認しながら財源の充当比率などを考慮し、今後のセンター運営について検討していく必要があると考えています。

地域福祉活動推進事業全般においては、合併当初から継続して実施している事業に加えて新たに取り組みをすすめてきている事業もあり事業規模が拡大傾向にあります。そのため、事業を展開していく財源を確認しながら現在の事業を精査し、身の丈にあった事業運営に努めていきたいと思えます。

Ⅲ. 在宅福祉サービス事業

1. 介護保険サービス関係事業

(1) 居宅介護支援事業

【事業内容】

介護保険で要介護認定されたご本人及びご家族の依頼により利用者の心身の状態及び家庭の状況に応じて、利用者の希望に基づき、適切な介護サービスが総合的に受けられるように居宅サービス計画（ケアプラン）を作成します。

- ・ 介護保険収入 146,995,500円
- ・ 延べ作成件数 10,198件

【平成25年度月別ケアプラン作成件数】

	大王事業所		阿児事業所		磯部事業所		合 計
	介護	予防※	介護	予防※	介護	予防※	
平成25年4月	371件	18件	6件	0件	463件	17件	875件
5月	371件	17件	7件	0件	456件	14件	865件
6月	355件	15件	7件	0件	457件	14件	848件
7月	375件	17件	7件	0件	462件	15件	876件
8月	361件	17件	7件	0件	462件	16件	863件
9月	361件	18件	7件	0件	447件	17件	850件
10月	360件	18件	8件	0件	452件	20件	858件
11月	356件	17件	9件	0件	447件	21件	850件

12月	358件	15件	9件	0件	447件	22件	851件
平成26年1月	350件	12件	9件	0件	440件	23件	834件
2月	351件	12件	10件	0件	411件	24件	808件
3月	365件	9件	10件	0件	411件	25件	820件
事業所別合計	4,334件	185件	96件	0件	5,355件	228件	10,198件
〔前年比〕	+261件	-17件	+96件	0件	-302件	+43件	+81件

※予防に係るケアプラン策定事業については、志摩市以外に奈良県大和郡山市、岡山県美作市、奈良県御所市より受託。

【年度別推移】

〔単位：収入／円，作成数／件〕

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
介護保険収入	148,365,000	153,571,000	148,456,500	146,317,500	146,995,500
延べ作成件数	10,301	10,304	9,964	10,117	10,198

(2) 訪問介護事業 《阿児事業所》

【事業内容】

訪問介護員（ホームヘルパー）がご自宅まで訪問して、入浴・排泄・食事等の介護やその他の日常生活上の援助を行ないます。

- ・介護保険収入 109,291,307円
- ・延べ利用者数 39,499名

【平成25年度月別延べ利用者数及び延べサービス提供時間数】

〔時間：分〕

	延べ利用者数	延べサービス提供時間数
平成25年4月	3,411名	3,172：39
5月	3,499名	3,264：28
6月	3,304名	3,095：20
7月	3,527名	3,258：49
8月	3,286名	3,011：13
9月	3,322名	3,013：47
10月	3,434名	3,107：45
11月	3,361名	3,049：37
12月	3,342名	3,012：28
平成26年1月	3,087名	2,807：26
2月	2,852名	2,634：38
3月	3,074名	2,857：20
事業所別合計	39,499名	36,285：30
〔前年比〕	-2,654名	-2,723：34

【年度別推移】

〔単位：収入／円，利用者数／名〕

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
介護保険収入	137,185,075	139,570,302	128,826,367	122,736,864	109,291,307
延べ利用者数	45,575	47,999	44,093	42,153	39,499

(3) 訪問入浴介護事業 《阿児事業所》

【事業内容】

自宅の浴槽では入浴が困難な方に対して、看護師及び介護職員等が入浴車で訪問し、お部屋で入浴介助を行ないます。

- ・介護保険収入 22,083,320円
- ・延べ利用者数 1,735名

【平成25年度月別延べ利用者数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用者数	162名	162名	152名	165名	153名	148名
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用者数	140名	127名	133名	136名	122名	135名
延べ利用者数合計				1,735名〔前年比 -399名〕		

【年度別推移】

〔単位：収入／円，利用者数／名〕

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
介護保険収入	33,113,670	29,839,580	24,517,300	27,258,970	22,083,320
延べ利用者数	2,678	2,385	1,948	2,134	1,735

(4) 通所介護事業

【事業内容】

デイサービスセンターまで通所していただき、食事や入浴の介護サービスや健康体操、レクリエーションなどを日帰りで行ないます。

- ・介護保険収入 312,426,429円
- ・延べ利用者数 35,534名

【平成25年度月別延べ利用者数】（予防・基準該当生活介護含む）

	浜島事業所	大王事業所	阿児事業所	磯部事業所	きらり事業	合計
事業所利用定員	35名	40名	35名	40名	10名	
平成25年4月	740名	869名	717名	734名	92名	3,152名
5月	739名	805名	703名	765名	84名	3,096名
6月	725名	809名	745名	751名	76名	3,106名
7月	780名	826名	813名	809名	87名	3,315名
8月	782名	806名	747名	769名	74名	3,178名
9月	703名	761名	649名	715名	75名	2,903名
10月	762名	840名	727名	763名	79名	3,171名
11月	703名	783名	710名	688名	85名	2,969名
12月	637名	727名	636名	678名	68名	2,746名
平成26年1月	590名	682名	623名	673名	78名	2,646名
2月	508名	616名	625名	636名	64名	2,449名
3月	617名	696名	695名	717名	78名	2,803名
事業所別合計	8,286名	9,220名	8,390名	8,698名	940名	35,534名
〔前年比〕	+292名	-646名	+442名	+56名	-117名	+27名
サービス提供日数	293日	293日	293日	293日	244日	
1日平均	28.2名	31.4名	28.6名	29.6名	3.8名	

【年度別推移】

〔単位：収入／円，利用者数／人〕

	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
介護保険収入	345,779,931	344,409,393	326,606,619	326,875,243	312,426,429
延べ利用者数	38,482	38,496	36,885	38,125	35,534

※志摩通所介護事業所は平成 24 年度末で廃止。平成 24 年度以前は志摩通所介護事業の実績も含まれる。

(5) 福祉用具貸与事業

【事業内容】

個人では購入しづらい福祉機器を貸し出したり、販売することによって、在宅の環境を整え、在宅での生活と介護を支援します。

- ・介護保険収入 3,425,730円
- ・延べ利用者数 279名

【平成 25 年度月別延べ利用者数】

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
貸与利用者数	23 名	22 名	24 名	25 名	21 名	22 名
販売利用者数	0 名	1 名	1 名	1 名	0 名	2 名
	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
貸与利用者数	22 名	24 名	26 名	26 名	22 名	22 名
販売利用者数	1 名	0 名	0 名	0 名	0 名	0 名
利用者数合計	貸与利用者 : 279 名 [前年比+28 名]			販売利用者 : 6 名 [前年比+1 名]		

【年度別推移】

[単位 : 収入/円, 利用者数/人]

	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
介護保険収入	1,519,990	3,245,560	2,531,830	3,012,140	3,425,730
延べ利用者数	130	224	212	251	279

(6) 訪問看護事業 <<磯部事業所>>

【事業内容】

看護師等がご自宅まで訪問して、主治医の指示により、療養のお世話や必要な診療の補助を行ないます。また一部病状によっては医療保険の対象になります。

- ・介護保険収入 18,298,620円
- ・医療保険収入 3,565,900円
- ・延べ利用者数 [介護保険分] 2,904名
- [医療保険分] 408名

【平成 25 年度月別延べ利用者数】

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
介護保険	285 名	288 名	256 名	284 名	273 名	250 名
医療保険	30 名	27 名	28 名	27 名	37 名	38 名
	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
介護保険	240 名	225 名	190 名	184 名	202 名	227 名
医療保険	36 名	35 名	33 名	29 名	39 名	49 名
延べ利用者数合計	介護保険 : 2,904 名 [前年比-283 名]			医療保険 : 408 名 [前年比+97 名]		

【年度別推移】

[単位 : 収入/円, 利用者数/人]

	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
介護保険収入	20,735,460	19,289,480	22,010,280	20,360,450	18,298,620
医療保険収入	643,135	826,740	1,075,595	2,803,540	3,565,900
延べ利用者数(介)	3,066	2,845	3,679	3,187	2,904
延べ利用者数(医)	73	92	122	311	408

2. 障がい福祉サービス関係事業

(1) 障がい者ヘルパーセンター事業（ヘルパーセンターあんず【阿児】）

【事業内容】

訪問介護員（ホームヘルパー）がご自宅まで訪問して、入浴、排泄、食事等の介護やその他の日常生活上の援助を行なっています。

- ・自立支援費等収入 31,994,920円
- ・延べ利用者数 7,017名

【平成25年度月別延べ利用者数】

[時間：分]

	自立支援給付		移動支援事業		合 計	
	延べ利用者数	延べ提供時間数	延べ利用者数	延べ提供時間数	延べ利用者数	延べ提供時間数
平成25年4月	565名	758:00	30名	73:00	595名	831:00
5月	603名	794:25	28名	61:50	631名	856:15
6月	605名	752:50	40名	84:00	645名	836:50
7月	575名	790:25	38名	75:00	613名	865:25
8月	513名	713:00	42名	68:50	555名	781:50
9月	503名	649:00	34名	64:00	537名	713:00
10月	497名	688:00	44名	78:50	541名	766:50
11月	540名	815:00	45名	83:00	585名	898:00
12月	530名	733:50	40名	63:00	570名	796:50
平成26年1月	543名	756:00	54名	83:85	597名	840:25
2月	467名	660:50	55名	86:30	522名	747:20
3月	575名	768:50	51名	81:45	626名	850:35
合 計	6,516名	8,880:10	501名	904:10	7,017名	9,784:20
〔前年比〕	-511名	-408:20	-150名	-64:50	-661名	-473:10

【年度別推移】

[単位：収入／円，利用者数／人]

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
自立支援費等収入	29,034,390	26,089,474	28,617,840	33,982,720	31,994,920
延べ利用者数	(8,768)	(8,052)	(9,285)	7,678	7,017

(2) 障がい者生活介護センター事業

【事業内容】

施設まで通所していただき、常に介護を必要とする方に入浴、排泄、食事の介護等を行なうとともに、創作的活動または生産活動の機会を提供しています。

- ・自立支援費等収入 70,343,309円
- ・延べ利用者数 7,527名

【平成 25 年度月別延べ利用者数】

	生活介護センター きらり 【阿児】	生活介護ステーション さくら苑 【浜島】	合 計
平成 25 年 4 月	490 名	159 名	649 名
5 月	499 名	164 名	663 名
6 月	475 名	151 名	626 名
7 月	527 名	177 名	704 名
8 月	503 名	168 名	671 名
9 月	463 名	150 名	613 名
10 月	505 名	176 名	681 名
11 月	484 名	144 名	628 名
12 月	462 名	121 名	583 名
平成 26 年 1 月	422 名	120 名	542 名
2 月	407 名	114 名	521 名
3 月	496 名	150 名	646 名
合 計	5,733 名	1,794 名	7,527 名
〔前年比〕	+391 名	-333 名	+58 名

【年度別推移】

〔単位 : 収入／円, 利用者数／人〕

	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
自立支援費等収入	50,143,118	54,502,804	63,299,660	70,162,032	70,343,309
延べ利用者数	5,056	6,183	7,044	7,469	7,527

(3) 日中一時支援事業

【事業内容】

障がいのある人の日中の活動の場を確保し、その家族の就労を支援して、一時的な休息の場を提供しています。

《きらり》

- ・ 事業等収入 544,645 円
- ・ 延べ利用者数 232 名

【平成 25 年度月別延べ利用者数】

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
利用者数	38 名	30 名	21 名	23 名	20 名	19 名
	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
利用者数	16 名	14 名	11 名	12 名	13 名	15 名
延べ利用者数合計	232 名〔前年比 -236 名〕					

【年度別推移】

〔単位 : 収入／円, 利用者数／人〕

	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
事業等収入	2,200,404	1,785,882	1,777,612	1,168,149	544,645
延べ利用者数	593	562	566	468	232

《くれよん》

- ・事業等収入 21,600円
- ・延べ利用者数 5名

【平成25年度月別延べ利用者数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用者数	0名	0名	0名	0名	0名	0名
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用者数	0名	0名	0名	0名	0名	5名
延べ利用者数合計				5名〔前年比 0名〕		

※今年度新規利用者(3月のみ)の為、年度別推移表なし。

(4) 障がい児童デイサービスセンター事業

【事業内容】

障がい児に日常生活における基本的な動作の指導、集団生活への適応訓練等を行なっています。

- ・自立支援費等収入 36,443,897円
- ・延べ利用者数 4,031名

【平成25年度月別延べ利用者数】

	浜島・くれよん	大王・ゆうゆう	合計
平成25年4月	226名	159名	385名
5月	237名	120名	357名
6月	213名	105名	318名
7月	249名	173名	422名
8月	207名	268名	475名
9月	200名	85名	285名
10月	230名	75名	305名
11月	246名	38名	284名
12月	239名	79名	318名
平成26年1月	218名	81名	299名
2月	195名	79名	274名
3月	235名	74名	309名
合計	2,695名	1,336名	4,031名
〔前年比〕	-61名	-205名	-266名

【年度別推移】

〔単位：収入／円，利用者数／人〕

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
自立支援費等収入	31,434,610	33,697,020	34,946,702	37,725,002	36,443,897
延べ利用者数	3,344	3,556	3,700	4,297	4,031

(5) 就労支援事業

〈1〉事業実施状況

【事業内容】

一般企業等での就労が困難な方に、働く場を提供するとともに知識及び能力の向上のため

に必要な訓練等を行ないます。

- ・ 就労支援事業収入 36,497,402円
- ・ 自立支援費等収入 149,491,030円
- ・ 延べ利用者数 18,039名

【平成25年度月別延べ利用者数】

障がい者支援施設名	障がい者支援施設はばたき	障がい者支援施設あいのその	障がい者支援施設えりはら	合計
事業所の定員	20名	20名	40名	
平成25年4月	443名	346名	718名	1,507名
5月	460名	353名	718名	1,531名
6月	462名	333名	711名	1,506名
7月	495名	376名	766名	1,637名
8月	467名	335名	666名	1,468名
9月	428名	335名	673名	1,436名
10月	518名	378名	798名	1,694名
11月	480名	339名	687名	1,506名
12月	474名	328名	708名	1,510名
平成26年1月	446名	340名	651名	1,437名
2月	423名	312名	602名	1,337名
3月	448名	332名	690名	1,470名
合計	5,544名	4,107名	8,388名	18,039名
〔前年比〕	+957名	-63名	+233名	1,127名

【年度別推移】

〔単位：収入／円，利用者数／人〕

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
就労支援事業収入	24,454,038	43,118,980	40,434,548	39,037,537	36,497,402
自立支援費等収入	119,609,550	120,316,040	128,025,080	142,297,880	149,491,030
延べ利用者数	14,741	15,423	16,519	16,912	18,039

〈2〉 就労支援事業内容

中心施設	付属作業場	作業内容等	備考
障がい者支援施設はばたき利用者35名	福祉農園	農園芸作業・食品加工・販売活動 ※本体施設内	花卉園芸作業 野菜づくり等
	菓子工房エスパス	クッキー・ケーキ作り、販売 ※本体施設内	菓子製造作業
	喫茶ひまわり	喫茶店・飲食店経営 ※サライアご	喫茶業務 ケーキ等販売
	味処はばたき	飲食店・レストラン経営 ※市役所本庁舎	飲食 弁当仕出し ケーキ等販売
	福祉市場レインボー	地場産品直売所運営、受託販売 ※市役所横直売店舗	農産品 水産加工品
	その他	受託建物清掃・公園清掃作業 ひきこもり社会参加促進事業 工賃倍増新商品の開発事業等	サライア清掃 県道公園清掃 スパイン村ほか

障がい者 支援施設 あいのその 利用者 25名	本体施設	真珠商品・ビーズ商品作成販売 EM関連商品作り・販売 リサイクル作業（資源回収選別） 電器会社等受託作業、清掃作業	自主製品販売、道の駅・ホテル等へ委託販売
	味工房 ともやま	関係施設の給食調理・運搬 高齢者食事サービス弁当調理 観光客向け飲食店・調理業務	野外活動センター等との連携業務
	つばさ 作業場	ミニ畳、手編みマットの作成・販売 EM関連商品作り・販売、清掃作業 リサイクル作業（資源回収選別）	自主製品販売、道の駅・ホテル等へ委託販売
障がい者 支援施設 えりはら 利用者 46名	本体施設	パン製造・販売 手芸、紙すき製品等の作成・販売 農園芸作業	メロンパン他、マグネット、ビーズコースター、ハガキ、カレンダー等
	ひかり 作業場	電器会社等受託作業（3社） プルーンの袋詰め作業、販売 手芸・自主製品作成・販売 リサイクル作業（資源回収選別）	プルーン販売、アクリルたわし製造、ダンボール、アルミ缶回収
	あいあい 作業場	電器会社等受託作業（2社） 手芸・自主製品作成・販売	鍋敷き、組紐アクリルたわし、ビーズ製品等

〈3〉その他

①障がい者支援施設はばたき

- ・三重県が実施している「障害者工賃倍増計画推進事業」の委託を受け、利用者への工賃倍増を目指し、観光客をターゲットにした新商品（みやげもの）の開発等に積極的に取り組んでおります。
- ・一般就労した利用者へのサポートも継続的に行っております。
- ・地域のイベント等の行事にも販売活動等で積極的に参加し、就学前児童、小学生、中学生の体験・交流の場も計画・実施しております。
- ・地域の学生の体験・実習の受入等も行っております。

②障がい者支援施設あいのその

- ・地域フェスタでは、地域の子供たちとの交流ができました。
- ・特別支援学校より3年生の作業実習の受け入れ。
- ・浜島にある三重県水産研究所と連携し、水産業からの作業受託と水産事業者との販売を行いました。平成25年度から水産業と福祉の連携に取り組んでいます。
- ・販売については、地域の方々から自主製品の材料提供や委託販売への協力をいただいています。また、地域行事へ出店し、事業の啓発を行なっています。
- ・ボランティアの訪問が、各作業場において続けられています。
- ・外出等の行事を取り入れ、さまざまな体験や生活訓練を実施しました。
- ・つばさ作業場は平成25年度1年間越賀中学校で事業を行いました。

③障がい者支援施設えりはら

- ・施設外支援にて利用者3名が実習（庭園清掃、厨房作業）に参加し、その内1名は一般就労に繋がることができました。
- ・3作業所共通でレクリエーション大会、日帰り旅行、総合避難訓練、生活訓練など文化

的社会的な活動・体験を実施しました。

- ・地域の大学生（介護等体験）2名の実習受入れを行いました。
- ・特別支援学校より3年生（3名）の体験実習（前期・後期）の受け入れと2年生（1名）の受入れを行いました。
- ・地域の小学校・保育所（3校）との交流を通じ障がい学習への協力と啓発活動を行い、地域でのイベント、サロンへの販売を通して事業の啓発活動に取り組みました。

3. 事業評価と今後の課題 [在宅福祉サービス事業]

介護保険サービス事業については、昨年度の法改正による減収傾向に歯止めをかけるために、一部の通所介護事業所において新たに夕食サービスを始め、またサービス利用時間の延長や加算のとれるサービスに取り組んでいます。

また、訪問介護事業や訪問入浴介護事業等の訪問系サービスを必要とする介護度の高い高齢者は、サービス付き高齢者住宅など市内の福祉施設の充実によるなど、介護保険サービスのニーズが訪問系サービスから、施設系や通所系のサービスへ移行しつつあることが訪問系事業の利用者の減少の要因の一つでもあると分析しております。今後のサービス事業所の健全な運営をしていくために、さらにサービスの質の向上や内容の見直しをし、また人材の不足からサービスを断るケースもあることから人材の確保も必要と考えております。

障がい福祉サービス事業は、相次ぐ法改正により今後も不透明な将来像が懸念されます。障がい者虐待防止法の施行など、これまで以上に「権利擁護」が求められる中、現状に満足することなく、柔軟に対応できる組織体制づくりに向けて更なる取り組みが必要です。

事業全体としては、社会福祉（地域福祉）の推進と社会資源の経営（福祉経営）について、どちらの機能も相関的に低下するということがないよう、社会福祉協議会の意義を確認しながら、財源の充当比率などメリハリのある事業調整に努めたいと思います。さらには、職員一人ひとりが経営者意識を持つよう、意識改革も必要であると考えております。